

## 姉妹校交流の経験を生かして



12月11～16日に姉妹校カシミア高校生20人は、1・2年次生の家庭に5泊6日のホームステイをしながら、一緒に授業を受けたりスポーツ大会に参加したりしました。また土曜日の鞆岡セミナー「おもてなし英会話講座」では南高1・2年次生59人が美観地区でカシミア高校生を英語で案内しました。



### 交流活動（授業やホストファミリー、バディ活動）での生徒の感想

- ✓ 英語が好きになる絶好の機会となった。
- ✓ 海外留学を考えるようになった。
- ✓ 大学入試にもつながる大切な英語力を高められた。
- ✓ 経験は今後の武器になると確信した。
- ✓ 積極性が大切で、話しかける勇気ができた。
- ✓ 話を引き出そうとする気持ちが湧いた。
- ✓ 自分の意見を言ったり相手を気遣ったりする経験は緊張したものの、とても新鮮だった。
- ✓ カシミア生徒はどんな話題でも、しっかりと自分の考えを言葉にできていた。
- ✓ 英語で話をする自分は、とてもイキイキしていることに気づいた。



少々の困難があっても、タフに柔軟に何とかやっていくことが「グローバル体験」だと思います。年の初めにあたり、「この交流活動の経験をどのように生かすか？」を考えてみましょう。たとえば「しっかり勉強しようと思った」とか、「自分の考えを言葉にして説明できるようになりたいと思った」ということは、自分の将来に影響を及ぼすとても大事なことです。

貴重な経験をクラスの友達と共有して、クラス全体の学校全体の財産にできるよう願っています。